

平成30年第3回大田原市議会定例会

質 問 通 告 表

期 日	曜日	開始時間	質 問 者
平成30年 9月5日	水	午前 11時頃から	1 大豆生田 春美 議員 (政友公明会) 2 滝田 一郎 議員 (一誠会) 3 高瀬 重嗣 議員 (政友会) 4 星 雅人 議員 (一誠会)
平成30年 9月6日	木	午前 10時から	5 弓座 秀之 議員(政友自民クラブ) 6 前野 良三 議員(政友自民クラブ) 7 小池 利雄 議員 (政友公明会) 8 秋山 幸子 議員 (無会派) 9 中川 雅之 議員 (無会派) 10 印南 典子 議員 (一誠会)
平成30年 9月7日	金	午前 10時から	11 菊池 久光 議員 (政友会) 12 本澤 節子 議員 (無会派) 13 鈴木 央 議員 (一誠会) 14 小野寺 尚武 議員 (無会派) 15 千保 一夫 議員 (無会派)

大 田 原 市 議 会

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式
質問順位	1	議席番号	13
		質問者	大豆生田 春美

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 障害者スポーツ振興について	(1) 本市における障害者スポーツについての考えを伺いたい (2) 本市に障害者スポーツ施設を設置する考えはあるか伺いたい
2 小中学校へのエアコン設置について	(1) 小中学校へのエアコン設置の考えはあるか伺いたい
3 防災減災について	(1) 災害時の各地域における避難計画の現状を伺いたい (2) ハザードマップの周知徹底の状況及び見直しの必要性を感じているか伺いたい (3) 人の集まる場所(スーパーやレストラン、娯楽施設など)へ避難場所の掲示をしていくべきと思うが考えを伺いたい

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式
質問順位	2	議席番号	5
		質問者	滝田 一郎

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 森林整備計画及び森林環境譲与税(仮称)を活用した林業の成長産業化について	<p>(1) 大田原市森林整備計画に基づく主な事業の執行状況について伺います</p> <p>(2) 平成31年度森林環境譲与税(仮称)の推定交付額及び林業の成長産業化に向けた用途について伺います</p> <p>(3) 税を活用した植林・育林活動等新たな都市・山村連携及び人材育成について伺います</p>
2 中小企業金融対策費の利用促進による商工業の活性化について	<p>(1) 中小企業者に対する融資に関する条例施行規則に基づく融資実績及び融資拡大施策について伺います</p> <p>(2) 信用保証料補助金及び創業支援資金融資利子補給金の支出実績と今後の施策について伺います</p>
3 未来創造戦略における数値目標に基づいた効果の検証及び重点事業について	<p>(1) 基本目標に据えている①雇用の創出②転出超過数の減少③出生率の回復④住み心地満足度向上に関する施策の進捗状況について伺います</p> <p>(2) 未来創造戦略における重点事業について伺います</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式
質問順位	3	議席番号	9
		質問者	高瀬 重嗣

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 大田原市を評価する各種ランキングについて	(1) 住みよさランキングについて市はどのように分析しているのか伺いたい (2) 地域ブランド調査について市はどのように分析しているのか伺いたい
2 ひきこもり対策について	(1) 15～39歳のひきこもりの若者は市内にどれくらいいるのか、実態について伺いたい (2) 今後の対策について伺いたい
3 熱中症対策について	(1) 熱中症の予防・対策について市の取り組みを伺いたい (2) 小中学校における熱中症予防対策について伺いたい (3) 小中学校のエアコン設置状況について伺いたい (4) 市の施設における今後のエアコン設置に関する考えを伺いたい

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式
質問順位	4	議席番号	3
		質問者	星 雅人

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 学童保育(放課後児童クラブ)と放課後子ども教室のあり方について	<p>(1) 学童保育と放課後子ども教室は、放課後子ども教室を学童保育にするという形で一本化し、担当課を子ども幸福課にまとめるべきだと考えるが、市の考えを伺いたい</p> <p>(2) 放課後子ども教室を維持した場合の事業費と学童保育に変えた場合の事業費をそれぞれどのように見積もっているか伺いたい</p> <p>(3) 現在放課後子ども教室が行われている3校に学童保育を設置した場合の費用をどのように見積もっているか伺いたい</p> <p>(4) 学童保育とは違う形で、放課後子ども教室を新しい事業として立ち上げるべきと考えるが、考えを伺いたい</p> <p>(5) 子ども子育て支援計画の第4章教育・保育提供区域における量の見込みと確保の方策の2に放課後児童健全育成事業(学童保育館)の量の見込みと確保の方策が載っているが、量の見込みに対する児童数の推移と確保の方策について、現状を伺いたい</p> <p>(6) 上記計画の見直しはどのようになっているのか伺いたい</p> <p>(7) 放課後児童支援員等処遇改善等事業による常勤職員の配置について、その後の経過を伺いたい</p> <p>(8) 学童保育の民間への補助と委託は、委託に一本化すべきと考えるが、市の考え方を伺いたい</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式
質問順位	5	議席番号	6
		質問者	弓座 秀之

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 小・中学校での熱中症対策について	(1) 普通教室のエアコンの設置状況について伺います (2) 屋内授業・屋外授業での対策について伺います
2 通学時の安全確保について	(1) 登下校時に教材・荷物が多くなる配慮について伺います
3 資生堂稼働開始に伴う道路状況について	(1) 渋滞緩和の対策について伺います (2) 新たな路線確保の考えについて伺います
4 地域おこし協力隊について	(1) これまでの協力隊の導入した延べ人数を伺います (2) 隊員導入後の成果・効果について伺います

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式
質問順位	6	議席番号	17
		質問者	前野 良三

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 新庁舎におけるイベントについて	(1) 新庁舎開庁後における催し物の予定について伺います
2 集団検診について	(1) 平成30年度の申込み状況について伺います (2) 前年度の申込み者数と比較してどうであったか伺います
3 敬老関係事業について	(1) 敬老祝金について伺います

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式		
質問順位	7	議席番号	14	質問者	小池 利雄

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 肝炎検査について	(1) 肝炎検査とフォローアップ体制の現況について伺いたい (2) 肝炎検査の受診率向上とフォローアップ対策の推進について、市の考え方を伺いたい
2 ふるさと納税について	(1) ふるさと納税の現況について伺いたい (2) 返礼品の内容について、今後の取り組みを伺いたい

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式
質問順位	8	議席番号	1
		質問者	秋山 幸子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 本市小・中学校の全教室にエアコンを設置することについて	<p>(1) 現在、学校では暑さ対策をどのように行っているか伺います</p> <p>(2) 小・中学校、各階の教室一か所以上の室温測定を午前・午後、定刻で測定し、児童生徒の学習環境を把握できないか伺います</p> <p>(3) 児童生徒の学校生活の場である教室の環境改善に、大田原市内の小・中学校の全教室にエアコンを今年度中に設置する考えはあるか伺います</p>
2 公共施設・公衆トイレの洋式化について	<p>(1) 高齢の市民や観光客が健康づくりのウォーキングがしやすいように、公衆トイレを増設する考えはあるか伺います</p> <p>(2) 高齢者が使いやすいように、公共施設のトイレ及び公衆トイレを洋式化する考えはあるか伺います</p> <p>(3) 災害時指定避難所となる公共施設のトイレや指定緊急避難場所にある公衆トイレの洋式化は早急に整備すべきと思うが考えを伺います</p>
3 介護保険について	<p>(1) 第6期計画の3年目平成29年度から第7期30年度へ移行する際の大田原市所得段階別被保険者数推計は過大に見込んでいないか伺います</p> <p>(2) 歳入歳出差し引き実質収支額のうち、地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額はどの位になるか伺います</p> <p>(3) 介護サービス利用料の負担軽減の為、助成制度を実施する考えはあるか伺います</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式
質問順位	9	議席番号	12
		質問者	中川 雅之

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 本市における県有施設「那須庁舎・県北健康福祉センター・大田原土木事務所・那須農業振興事務所」の4施設の統合、移転計画における本市との協議について	<p>(1) 統合移転計画の県の方針と本市の考え方について伺います</p> <p>(2) 統合移転に伴う跡地利用について伺います</p> <p>(3) 那須野が原ハーモニーホールの駐車場の確保について伺います</p>
2 旧大田原地区内の道路行政について	<p>(1) 都市計画道路(中田原美原線)の整備計画について伺います</p> <p>(2) 3・3・2号大田原野崎線の整備に伴い、3・4・8号城山元町線を繋ぐ、市内循環線の整備について伺います</p> <p>(3) 旧大田原市街地の道路整備計画について伺います</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式
質問順位	10	議席番号	2
		質問者	印南 典子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 高齢者の特性を踏まえた健康長寿施策について	<p>(1) 高齢者の心身が低下する「フレイル」の兆候を見逃さないための本市の取り組みについて伺います</p> <p>(2) 今後の「フレイル」対策と関係機関との連携・協力及び推進について伺います</p>
2 私有空き地の管理指導及び空き家の有効利用について	<p>(1) 過去3年間の空き地・空き家の推移について伺います</p> <p>(2) 本市が行っている空き地・空き家対策について伺います</p> <p>(3) 今後の空き地の管理指導及び空き家の有効利用について伺います</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式
質問順位	11	議席番号	10
		質問者	菊池 久光

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 歴史と伝説を活用した大田原市の観光について	(1) 那須国造から九尾の狐・那須与一・那須七騎・松尾芭蕉・大田原家・大関家、そして明治へと、歴史と伝説を更に掘り起し繋ぎ合わせた新たな観光ルートをおおたわら国造りに活かすべきと思うが考えを伺いたい
2 浄化槽台帳の整備について	(1) 公共設置型浄化槽の設置状況について伺いたい (2) 個人設置型浄化槽の設置状況について伺いたい (3) 災害時の対応はもちろん、環境保全・適切な維持管理推進のためにも、個人設置も含めた浄化槽台帳の整備が必要かと思うが考えを伺いたい
3 芭蕉の里くろばね那珂川レディース鮎釣り大会(鮎レディ)について	(1) 今年度の実施状況と反響について伺いたい (2) 今後の開催予定について伺いたい

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式
質問順位	12	議席番号	21
		質問者	本澤 節子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 教育問題について(児童・生徒の人権擁護の立場から)	<p>(1) 子どもの人権擁護の厳守について</p> <p>①教師と子どもの信頼関係の確立について 若草物語のジョーさん、ベアさん夫妻の、3歳の女の子が「私、みんな好きよ」とさげび人間関係の大切さを訴えています。児童生徒を馬鹿にしない。将来社会を背負って立つ人材として尊敬する姿勢が大切です。これは、暴力を決して肯定しない態度につながると考えますが、教師と子どもの信頼関係の確立について考えを伺います</p> <p>②きれいな国語を話す教育の実現を求めます きれいな国語で、自分の意見を最期までに言う。相手の意見を最後まで聞く。相手から学び、自分の意見を受け入れてもらう。どう実践されているか伺います</p> <p>③相手を受け入れ自分を成長させる人間関係の確立の取り組みについて伺います</p> <p>(2) いじめは暴力、決して許さない教師の姿勢の確立を求めます いじめは、一方的な自動車事故のようなもの、被害者は心身ともに深く傷ついています。いじめという暴力をなくすためには、相手との信頼関係、また、周囲との信頼関係で、自分を守ることが大切です。いじめは決してやってはならない暴力として、教師そして子どもたちの間に、日々浸透させていく努力が求められます。決意のほどを伺います</p> <p>(3) 発達障害児対策は、早期に適切な支援を受けるべきです</p> <p>①担任と養護教諭の観察と意見を尊重すべきです</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式
質問順位	12	議席番号	21
		質問者	本澤 節子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
	<p>②発達障害の傾向にある児童・生徒については専門の医療機関の診断を、早期に受けるべきと考えますが、現状では、専門の医療機関の予約が取れないで困っているとの声があります。県や市が主体となって、専門の医療機関への受診を保障するなどの支援が必要であると思っておりますがいかがですか</p> <p>③あくまで、発達障害の児童・生徒の成長を支援する立場を守るべきです</p> <p>2016年4月に施行された、「障害者差別解消法」により、発達障害のある子どもたちに、学校が「合理的配慮」をすることが義務づけられました。「合理的配慮」とは、障害のある人が、他の人と平等に暮らすために、周囲の人や学校、会社などが無理のない範囲で行うべきとしています。</p> <p>①見えない人に、声で文字情報を伝えるなどの支援②音に敏感な子どもに、教室でヘッドホンの着用を認めるなどのルール変更③車いすの人のために動線を広くするなどの環境の調整が求められています。発達障害に詳しい筑波大学教授の柘植雅義さんは以下のように述べています。</p> <p>(2018年3月30日NHKハートネットの記事より)「昔は、発達障害に限らず障害のある子どもが学べないのは、本人の勉強が足りないなど、本人の障害のせいだと考える時代がありました。今は違います。ある指導・支援をして子どもがうまく学べないのは、その指導や支援がよくないので、それを変えていこうというのがまさに、特別支援教育の基本的な理念。そのことを学校が理解する必要があると思います。」教師と保</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式
質問順位	12	議席番号	21
		質問者	本澤 節子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
2 高齢者対策について	<p>護者の連携のキは「個別の指導計画」2016年6月の発達障害者支援法の改正では、これまで任意だった「個別の指導計画」の作成の推進が盛り込まれました。これによって、小学校では平成32年度までに、中学ではその翌年度までに、通級や特別支援学級に通うすべての子どもについて、作成が義務づけられる予定です。「個別の指導計画」の作成を通して、教師と保護者の連携が促され、子どもたちに対する共通理解が進むことが期待されます。担任を支える仕組みとして国が示しているのは、まず、特別支援コーディネーターという役割の先生をおき、定め、保護者などからの相談の窓口となりつつ、担任や校長、養護の先生などと連携して、一人ひとりの子供の支援を推し進めます。そして定期的に、校内委員会という会議を開いて、学校全体で子どもの支援を検討。さらに学校が困った時には、外部の専門家に相談できる仕組みがあります。ここで質問させていただきます。この合理的配慮や、個別指導計画、特別支援コーディネーターに関する、市の公立学校での取り組みの現状について伺います</p> <p>(1) 高齢者の外出支援について ある日突然、車の運転が難しい状況になった時、私は大変大きなショックを受けました。自分一人車で出かけられない。どうしても必要な病院へも一人ではいけない。どうしても必要な買い物へも、目の前のスーパーさえも車が多く危険なため、道路を渡ることができない。行きたい所はもちろん、行かなければならない所さえ行けない。</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式
質問順位	12	議席番号	21
		質問者	本澤 節子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
	<p> 当たり前の生活の一部、社会的な活動に参加する重要な手段を失いました。私はこの経験から終生、死ぬまで好きなところに自由に出かける、そのための支援を本市が実現することを強く求めます。以下、何点か具体的な提案をさせていただきます。まずは、「大田原市高齢者運転免許証 自主返納推進事業」についてです。65歳以上の市民で、全ての運転免許証を自主返納した方(※運転免許証返納日から1年以内に申請。市営バスが無料となる無料乗車券及び対象公共交通機関の乗車が無料となる無料乗車券を交付。※交付日から5年間有効、無料乗車券は期限内であれば追加可能 H29.10.1 改正)市は、市営バスなどが無料となる無料乗車券の交付が、5年間のみ無料とのことですが、同じ「運転免許証自主返納支援事業」において、鹿沼市と小山市では、終身つまり、生きている間はずっと無料となる乗車券を交付しています。生きている間は、ずっと本市のバスが無料であれば、運転免許証を返納した高齢者にとって、大きな励みになります。そこで提案します。本市は高齢者に限らず、自動車運転免許証のない方へ、市のバス等の、終身無料乗車券を交付してほしいです。那須塩原市の例を紹介します。高齢者外出支援タクシー利用券は、70才以上の市内居住者で、運転免許証がないか、自動車を所有しない人で、次のいずれかに該当する人●同居等の親族がいない●同居等の親族による外出支援が受けられない。年間3万5千円のタクシー券交付(毎年受領可能) H28.8.16 上三川町では、社会福祉法人上三川町社会福祉協 </p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式
質問順位	12	議席番号	21
		質問者	本澤 節子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
	<p>議会日常生活外出支援ボランティア事業として、一人で外出が困難な高齢者で、家族や親族による外出の支援が困難な方に対してボランティア会員が、社会福祉協議会の車両により外出を支援しています。外出範囲は隣接市町まで、2時間以内、原則月1回となっています。(H23.6.13)</p> <p>塩谷町の福祉ワゴン事業では、65歳以上の方(常時車の運転が可能な人は除く)障害等をお持ちの方で、車の運転が困難な方(ほかに諸条件あり)特に町長が認めた方を対象に、自宅やその周辺から目的地まで、また、目的地から自宅までを送迎する。送迎については、町内の病院やスーパー、銀行等、町外は医療機関のみ(それ以外は事前協議が必要)となっています。H24.4.1</p> <p>これらの例を参考に、市の制度の改善を求めます</p> <p>(2) 高齢者の生活支援について</p> <p>金融広報中央委員会が実施した「家計の金融行動に関する世論調査」によると、平成28年の「金融資産非保有」世帯は、60歳代の単身世帯で33.5%となっています。また、2人以上世帯では60歳代が29.3%、70歳以上は28.3%つまり、60歳以上の約3割は貯金がない状況です。この高齢者の貧困に対し、行政が第一に支援すべき点は、医療費の確保であります。現制度では、高額療養費制度がありますが、例えば、入院した場合には、保険外の負担、例えば部屋代(差額ベット代)などがあり、出費がかさみます。退院が決まった患者さん家族の、一番の心配は、退院時の支払金を、どう準備するかでありました。本市における支援制度としては、栃木県社会福祉協議</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式
質問順位	12	議席番号	21
		質問者	本澤 節子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
	<p>会の生活福祉資金があります。内容は、負傷または疾病の、療養にかかる必要な経費(健康保険の例による医療費の自己負担額のほか、移送経費等、治療費に付随して要する経費を含む)及びその療養期間中の生計を維持するために必要な経費、療養機関が1年を超えないときは170万円、1年を超え1年6か月以内であって、世帯の自立に必要な時は230万円、期間は5年です。</p> <p>ここで質問させていただきます。この生活福祉資金制度がどれだけ市民に周知され、利用されているのかお聞かせください。具体的には、ここ5年間の利用実績を教えてください。利用されていないなら、何が原因か教えてください。また、県内の他の市町村と比較して、利用実績がどのような状況か教えてください。利用されていないなら、何が原因でしょうか</p> <p>(3)安全・安心の生活環境づくりについて</p> <p>我が家の向かいには、北大通を挟んでスーパーがありますが、歩くときにふらつきのある私としては、一番近くの信号のない横断歩道の利用を試みても、車のおりが多く常に命の危険を感じる状況です。実際にその横断歩道では、高齢の歩行者が車にひかれるという事故がありました。栃木県警察本部によりますと、今年1月から6月までの半年間に、県内の交通事故で死亡した、65歳以上の高齢者は29人で、人口当たりでは全国の都道府県で、最も多くなりワーストワンとなりました。警察によりますと、高齢者の死亡事故は、夜間、歩行者が車にはねられるケースが多いということです。警察はドライバーへのハイビームの</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式
質問順位	12	議席番号	21
		質問者	本澤 節子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
3 焼却場問題及び木質発電について	<p>利用や歩行者への反射材の装着を呼びかけるとともに、事故が多発している夕方・夜間の検問を強化するなど、高齢者の事故対策に力を入れていく方針だそうです。ここで質問させていただきます。大田原市としては、高齢者の事故対策としてどのような努力をされていますか</p> <p>さまざまな理由で、車に乗れない高齢者が、自転車や歩くなど、必死に工夫して日々行動していますが、高齢者のみならず、子供も含めた、自転車や歩行者の交通環境は、日中でも大変危険なものであると我が身を通して強く感じました。日常生活を、安全に過ごすことができない交通環境です。私は子どもから高齢者、そして障害のある方々が、安全に安心して行動できる道路環境、生活環境の整備を望みます</p> <p>一つの提案をさせていただきます。北大通の那須信用金庫前にある、無信号の横断歩道について提案します。現在の無信号の横断歩道に、押しボタン式の信号機の設置を提案します。他に事故のあった無信号の横断歩道に押しボタン式の信号機の設置を検討していただきたいと思います。また、信号付き交差点には、ボタンを押すとその時だけ横断時間が延長できる装置ができないか検討をお願いします</p> <p>(1) 焼却場の延命化工事(基幹部分の更新)について ①15年が経過した「広域クリーンセンター大田原」の延命工事について伺います 埼玉県秩父市の「秩父クリーンセンター(ごみ焼却施設)」の長寿命化工事を参考に行われるそう</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式		
質問順位	12	議席番号	21	質問者	本澤 節子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
	<p>ですが秩父市では20億円、本市では44億円、2.2倍の計画となっています。約10万人の圏域人口、15年経過時点での基幹部分の更新工事、目標延命年数、工事会社(日立造船)などはほとんど同じです。違うところは、工事が6年前であること、燃焼方式が秩父はピット・アンド・クレーン方式(灰溶融なし)、本市がストーカー式燃焼+灰溶融方式であることなどの違いがあることは事実です。しかし、これをもって2.2倍となることには納得できません。説明を求めます。本市では発電装置だけで17億円となっています。この点も含めた納得のいく説明を求めます</p> <p>②ごみ発電の採算性について伺います 昨年12月議会詳細設計についての答弁の中で、採算性について「利益が出るのは20年から25年の計算です」との副市長の答弁でした。今年の3月議会では「これまでの電気料が抑えられる分と起債の償還やメンテナンスコストなどの額を比較し計算しますと、20年で約5億円程度の利益が出る試算となっております。売電が可能となった場合には、さらに利益の上積みになるものと考えられます。」との答弁でした。試算の金額、根拠を明らかにしてください。起債の償還の比較はいくらですか、電気料の抑えられる分はいくらか、メンテナンスコストはいくらか、特にごみ発電を取り付けると内圧が高くなると聞いています、予測していない修繕費の増加をどのくらいに見えていますか、この試算は本市だけなのか、広域としてなのかもお尋ねします</p> <p>③市のごみ発電そのものの成否にかかわる採算</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式
質問順位	12	議席番号	21
		質問者	本澤 節子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
	<p>性についてお尋ねします</p> <p>ごみ発電の設置には17億円がかかるとの試算です。この17億円の費用を回収するには本市の焼却場では何年かかりますかお尋ねします。焼却場の寿命をあと15年としますと1年で1億3333万円の利益が必要です。国や県の補助金も血税です。社会全体として採算を考えるとそうなると思います。ですから日量焼却トンが300トン以上の焼却場で85%発電を実施、101～300トン以下、3分の1で発電を実施が現状です。広域クリーンセンター大田原は日量88トンと小規模であり発電には向かないのです。どのようにその有益性を考えておられるのかお尋ねします。ごみ発電は、ごみの減量・リサイクル促進との逆行、人口減少とごみ減量との矛盾など多くの問題を抱えています。再考する考えはありませんかお尋ねします</p> <p>(2) 木質発電について</p> <p>市はバイオマス産業都市構想の中で、5000kW(補助金事業)の大型の木質発電の構想をお持ちのようです。(日光市では、旧ウエスタン村跡地での5千kW木質発電が中止、数年越しの取り組みでした。)3月議会でも指摘した通り、大型では燃料不足、放射能問題など多くの問題を抱えています。これらの問題点を解消する1つの方法として、10分の1の500kWの小型の木質発電所(一般家庭1千世帯分、小学校区単位程度)計画にすることを提案したいと思います。小型ですと、無公害のものが開発されていること、木材の地産地消で賄える、地域の雇用増につながる、地</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式
質問順位	12	議席番号	21
		質問者	本澤 節子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
4 市民の声	<p>域での熱利用で温泉や、ハウス栽培などに利用、災害時には地域電力にも利用できるなど地域の発展にもつながります。是非ご検討をお願いいたします</p> <p>(3) 焼却場の移転問題について 「広域クリーンセンター大田原」操業 15 年経過の時点に立って、市長の決意のほどを伺いたいと思います。平成15年9月6日若草住民と結んだ「覚書」協定については前回詳しく述べました。15 年後には現在の焼却施設は、更新ではすまず、建て替えも必至とも考えられます。どうですか。地元住民との間で、移転期日を明確にした住民協定を結ぶ意思のあることを明確にされ、検討を開始する市長の決意のほどを、お伺いいたします</p> <p>(1) 地球温暖化で、今年も全国で予想外の大雨が続いています。蛇尾川の氾濫の際、救急車・消防車などが出動できなくなることも考えられます。豪雨が予想される際など、救急車・消防車を別の高台に避難させておくことも考えておくべきと思いますがいかがですか</p> <p>(2) いま世界には1万 4000 千個の核兵器があるといわれています。今年の広島・長崎での被曝式典では、「核兵器禁止条約の推進」がとりわけ強く打ち出されました。被ばく国日本「非核都市宣言のまち大田原市」その具体化として「核兵器禁止条約の推進」との言葉を加えたスローガンを新しい庁舎に掲げてはどうか。市民から再度寄せられた声です</p> <p>(3) 公共施設及び通学路における危険なブロック塀</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式		
質問順位	12	議席番号	21	質問者	本澤 節子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
	<p>の点検状況。犯罪の起きやすい見えにくい通学路を避けるための安全対策などの実施状況をお尋ねします</p> <p>(4) 1時限目の授業参観にもかかわらず5分もしないうちに汗が玉のように噴き出す状況でした。空調が完備されている学校もあると聞きます。住んでいる場所で差異があるのは一納税者として納得できません。一日も早い空調の完備をお願いします</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式
質問順位	13	議席番号	4
		質問者	鈴木 央

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 ささえ愛おおたわら助け合い事業について	(1) 昨年度の活動実績について伺います (2) 今年度以降の活動方針について伺います
2 大田原市の指定木・花・魚について	(1) 指定に至るまでの経緯について伺います (2) 新たな指定の可能性について伺います

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式		
質問順位	14	議席番号	22	質問者	小野寺 尚武

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 財政運営並びに財務書類について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 健全化判断比率の推移からみた本市の現状 (2) 29年度決算にみる財政運営判断指標と健全化の計画目標成果について (3) 統一的な財務書類の作成を日々仕分にしたが、あらためてその理由を問う (4) 28年度の決算に係る連結財務書類を公表できなかった理由は (5) 29年度の財務書類の報告予定は (6) 固定資産台帳の公開について

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式
質問順位	15	議席番号	23
		質問者	千保 一夫

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 市内中小企業・小規模事業所等の「事業継承支援」について	<p>(1) 市内企業・事業所等の後継者の有無について実態把握はされているか</p> <p>(2) 栃木県事業引継ぎ支援センターが扱った本市内企業・事業所等からの相談件数・成約件数等は把握しているか</p> <p>(3) 大田原版「事業引継ぎ支援センター」を設置して、事業所閉鎖防止に努力する必要があると思うがどうか</p>
2 納税者に説明しながら節度ある行財政運営を心がけるべき	<p>(1) 大田原市民の税金で設立した(株)大田原ツーリズムの活動には当然に制約がある ○他の営利企業への出資(株式会社ライドエキスぺリエンス、那須野ヶ原プロパティマネジメント株式会社)の内容 ○複数社の代表取締役兼務等の問題</p> <p>(2) 市高齢者等外出支援事業の現状と適正化について</p> <p>(3) デマンド交通は本来の姿に戻し、NPO、公益団体等による事業として実施すべき</p>